

総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	平成29年9月28日(木)
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午前9時30分
出 席 者	委員長 我妻 薫 副委員長 山岸 三男 委員 千葉 一男 委員 藤田 洋一 委員 櫻井 功紀 委員 鈴木 宏通 委員 前原 吉宏
欠 席 者	
職務のため出席した者の職氏名	議会事務局主事 高橋 秀彰
協 議 事 項	・農商工連携による活性化について (政策提言に向けて)
そ の 他	
閉 会	午前11時40分

2号様式 協議の経過

<p>我妻委員長</p>	<p>おはようございます。大変天候が怪しくなってきましたけれど、議会報告会に向けてと、いよいよ政策提言の締め切りが間近に迫ってきてますんで、その両方を含めて今日皆さんのご意見をいただきながら最終的な提言に結び付けるように進めていきたいと思っておりますので、よろしく願います。</p> <p>委員会は委員全員出席しておりますので成立しております。今、若干あいさつでも触れましたが、まず当面目の前に迫っているのが議会報告会でございます。3日の合同会議までに当委員会の報告書をまとめなくちゃならないということが課題になっております。あわせて12月議会には町に対する政策提言を議長宛てに提出しなければならない。そういう状況になっています。それできょう正直言って私自身悩みましてどのような議会報告会報告書にしたらいいのかなど。去年度のは、皆さんの御手元には高橋さんの方から手渡ししてもらいまして、去年は町内の意見交換、それと北海道の視察、この報告だけで、報告をそのまま載せて、最後に「今後、担当課との意見交換などを行い、政策提言に向けての討議を進めていきます」というのでまとめていました。ことしも足利に行っていますのでその報告は当然入れる必要があるかと思いますが、それだけでまた下が同じように以上の視察研修を踏まえてという文言にはならないと思うんですね。ですから一定程度これらの、はっきり言って2年間視察して、あるいは意見交換を重ねてきたので、それらを踏まえて一定程度のまとめの議論をまぜる。最終提言までいなくても一定程度の議論経過というかここまで報告書に報告できればいいのかなとそんな思いがしているのですが。その辺率直に言って皆さんの御意見をお聞きしたいと思うんですが。副委員長まずどうですか。</p>
<p>山岸委員</p>	<p>まず皆さんの意見を聞いてからの方がいいんじゃないですか。</p>
<p>我妻委員長</p>	<p>では副委員長は後で。ざっくりばらんに言えばそういう思いがあって皆さんのお手元に高橋さんに出してもらった去年の議会報告会とダブるところもありますけど、6枚ほどプリントしました。それを報告してから意見をいただきますね。</p> <p>一番最初は報告会の資料の頭になる部分で、去年度のを踏まえながらこんな頭ということで書いてみました。2ページ以降は、一番にも書いていますとおり、以下は素案の作成に当たった資料と考えられるものということで、1つは去年の八雲町、壮瞥町の報告の際に付した意見というか所見というか、を載せました。2つ目はことしに行った足利市と笠原産業視察を受けての意見ということで載せたものを載せました。ここで若干ね、</p>

	<p>4点目かな、報告になかったものをちょっとう、3に入っていたかな、分けて4つにした部分があるんですが。たぶんこれ3に入ってたと思うんです。それで3と4、最後の方を区分けしてこの数字になったかと思えます。ほぼ内容は変わっていないと思います。3枚目以降、3枚目と4枚目は去年報告した内容ですね、町内の各生産者との意見交換会。その次が、みどりのと……。みどりのは項目だけになっていますんで。その次のページが、この前足利に行つて鈴木さんから報告をもらった中に、提言の柱にというか、今まで議論されて皆さんとの意見交換の中でも出てきた内容ね、2点ほど、ネットワークあるいはプロジェクト、あるいは最後の方の「組織、個人を繋ぐ産学官の体制づくり」等々、ちょうど鈴木さんの報告を見たら、うまくまとめてもらっていたので、参考までにこれから提言のまとめをするに当たっての一つのたたき台という意味で参考までに。鈴木さんに無断で出すわけにはいかないの、きのうメールで内々送っておきましてここに掲載させてもらいました。そしてその下が4項目あります。これが今町で実施している事業ですね。商品開発あるいは人材育成支援、あとは販路開発で目玉としては北浦梨フェア、一番下は集落営農の組織の法人化支援でございますけど。一応主なものはこの4つが今、産業振興課で、町で実施している事業かなと。抜けていたらあとでまた足してみたいと思います。一番最後は、この前決算に付した意見、ことしの3月に予算に付した意見、一応常任委員会と分科会で名称が変わりますが、分科会として決算、予算に対して付した意見を参考までに資料として……。ですからこれらを参考にして町に対する提言を、今、分科会の方でも言いましたが、分科会で言っていることと常任委員会で提言することとつながりがなくとも困るので。そういうことで最後に入れました。</p> <p>一応悩みながらこの程度の……。さきほど言いましたが、議会報告会用のまずは報告、それと最終的な提言、一応段階的には分けてやならなくちゃいかと思いますんで、かといって提言に向けた……。一定程度入れて報告書に記載するかどうかね。その辺が一番の悩みどころで。御意見いただければと思います。</p>
山岸委員	<p>去年作ったやつだね、ここに資料あるんだけど、農商工連携活性化についてって議会報告会で使った資料の最後のページにですね、4ページの一番下に「以上、二つの視察、研修を踏まえ、今後、担当課との意見交換などを行い、政策提言に向けての討議を進めていきます」という、ここで結論を一応出しているんですね、我々常任委員会として。だからそれを、整合性を保つためには、この去年の議会報告会で説明した資料の最後の部分を今度の議会報告会の私たちの説明につなげていかないと整合性取れなく</p>

	<p>なってしまうので、まずこの一番下の「政策提言に向けての討議を進めていきます」、じゃあどういう討議をしたのかということも議会報告会のある…ある程度の説明をしなくちゃならないと思うんです、まず1点。それと同時にですね、私鈴木さんの提言は、書いてあったこともっともな、美里町に必要な部分を指摘されている部分は、いい内容を書いたなと思っています。それで今この一番下に現在町が実施している事業としてこの4つの事業、これもこの議会報告会で我々が報告…、町はこういう支援をして今進めていますということも説明しなくちゃいけないと思うんですね。そうした中で内容をまだ少し今回3月の分科会の中で産振と話をしたときに、委員長が最初の一番頭のページにまとめてきてありますね。ここと、あとなんだったかな、美里町は、絞ってきたのね、11品目から5品目にね、最後のところかな、「決算予算」の声あり) そうだね、決算…。このことも今回の報告書を取り入れれば去年の報告書と今回の報告書とつながっていくのかなと私は思っています。そして最後の方に、これは私の意見なんだけど、どうしても今までの取り組みだと町があるいは産業振興課が予算付けして町がどれだけバックアップできるかどうか、町がどれだけ力を入れるかどうかという議論が結構あったんだけど、私が個人的な意見として今回去年ことしと視察研修に行き感じたのはですね、まあ先進地ですから、当然先進地というのは他の町村よりも進んで物事を進めているものですから、一番強く感じたのはやっぱり民間の会社の力、それだけの規模と経済力と事業主と生産能力を持っている会社の社長さんがリーダーシップをとって、それを同業者だったりあと消費者だったり利用するいわゆるパン屋さんだったりそば屋さんだったりへ輪を広げて最終的には農商工連携につながっているというパターンって私は受け止めたのね。町が一生懸命努力しても、いわゆる「笛吹けど踊らず」で事業主とか会社の社長さんたちがまず手を挙げてこのままではだめだという意識を持って進めることによって結果的に農商工連携につながっているという部分をうんと感じたので。北海道もそうでしたよね。一つの会社の社長さんが発想して商品開発していつつながっている。そういう事例が先進地でやっているの、それを美里町に当てはめたときに。ないわけではないですよ、美里町の独自の農家の人が独自に商品を作って販売するのをやっている人がいますから、そういう人の話をもちろんみんなで聞いてもっと輪を広げていくためにはどういう方法、おそらく悩みとか課題を抱えてやっていると思うのね。そんなことも我々はそっちの方まで踏み込んでこういう報告書へ持っていったらいいのかなとは今思っています。</p>
我妻委員長	今、副委員長からかなりね、まとめるにあたっての…。

櫻井委員	<p>去年は農商工連携による活性化というのを研究テーマとして議会報告会で使ったやつですが、これらの部分は上のやつが要らなくて、本年度視察した足利市はこれは載せるべきだし、足利は報告書ありますよね。調査報告書。これを載せて、あとこの最後の、委員長が言いました鈴木さんの報告、これ全文書くのか失礼ながら抜粋するのか、これあるのね、今回ネットワークづくりやプロジェクトっていうのが、これ大事なことだし、「組織、個人を繋ぐ産学官の体制づくり」、提言があるということね。それから委員長が言ったもう1点、これも町がこれだけやっているというのは報告会では必要じゃないかと思えます。そしてあとは、今のやつはこの議会報告会用のね、文章にまとめていたけども、最終報告、12月に向けては前年度やったやつこれもね一緒に絡めなきゃいけないかなと思うんだ。その辺どうなんでしょう。</p>
我妻委員長	<p>今のだけで言うと、去年まだ政策提言まで出してない。（「去年はね、中間報告ね」の声あり）それを踏まえながら…。</p>
櫻井委員	<p>最終報告は、去年の視察の部分も入れなきゃならないと思うんですが、皆さんいかがでしょう。2年間やってるんだからね。</p>
我妻委員長	<p>そうです。最終報告はこの辺のも含めてあわせて提言ってなると思うんですね。</p>
藤田委員	<p>今、櫻井委員さんの話のとおりだと私も…。副委員長も話もされたけども。そのとおりだとは思いますが。ですから去年は去年である程度八雲、壮瞥のやつは議会報告会で住民の皆さんへ、視察に行つての経過を見せてるわけですから、その辺継続的にことしはさらにもっと大きく出るということでは足利ね、行ったわけだから、そこを重点にして、今年の部分として住民へ説明していくというのが基本的なのかなと私は思うんです。最終的な提言は2年間にわたってやったやつをまとめたやつが政策提言みたいな形になっていくのかなと。そういうふうになり立ったと思うんですけども、…町の中の支援ってのはあくまで後方支援っていうかね、我が町はそういう説明の中でもなにもかも町が進めていく、入り込んでやっていくなんていう支援は違うんですよという説明もあったわけだから、行政の支援っていうのは限られているんですね。ですから、その辺もあわせて我々もこの2年間で見たこともそのままに報告するということがいいんじゃないですかね。あまり難しくこう、鈴木さんのこの作っていただいた、特にいいかなと私は、このとおりだと見ては感じていたんですね。…として…しながら提供した方がいいかなと思えます。</p>
櫻井委員	<p>さっき言い漏らしたんですがね、議会報告会には鈴木さんのやつを抜粋すると言いましたけども、それを抜粋するのもですけども、最終報告書に</p>

	<p>もこれは非常に重要な項目だと思いますから、二重にあがっても大丈夫だと思います。</p>
<p>我妻委員長</p>	<p>今言われたのを少し確認すると、副委員長からも言われたように、去年の報告からつないだ形になる。そして、どういう議論をしてきたのかというのがあるけど。あと櫻井さんから言われたようにことしの足利のをまず報告して、それらから学んだこととして、これは全部につながってくる。そして、鈴木さんの分を足したらあとはそれに向けては今現在町がやっていることも触れる。今町がやっていることに対してこの辺が不十分だよというような形での提言になっていく。流れから行くとね。そうなるよね。だからそういう意味では視察で学んできたことをまず最初にいれて、そして現在町でやっている取り組み、それらに対して我々委員会としてはこれからこういうことが必要ではないかというふうに提言していく。流れから行くとそういう流れになるよね。その中にはさっき副委員長から言われた、北海道も足利もきちんとその柱になる民間事業者がいたと。ただここはね、いないけども。そこが1つのポイントかなと思うんですね。だからと言ってできる機関が出てくるのを待っているわけにはいかないから。そこに鈴木さんから言われている最後の方の産学官のきっかけ作りとかあるいはネットワークとかそういうところの組織作りというか。組織作りにしても笠原産業みたいに会社が組織を作っているんだったら行政は脇にいてもいいんだけど、ところが我が方はそうまでいかないよね。そうするとやっぱりきっかけとか組織作りぐらいまでの立ち上げまで、そういう支援も行政が関わってリードしてやって、かといってあとはね関わりはずっと続けながらのそこからあとはいろんなネットワークを強めるなり、あるいは産学官でいろんな民間の意見を、あとはせっき宮城大学とやっているから宮城大学の先生たちの意見ももらうとか、そういった恒常的な組織ね。そういったものを俺はちょっとイメージとしてさっき副委員長から訴えてもらった部分ね、あと鈴木さんから出たネットワークとか産学官とか、そういうところが我々としてはこう提言の方向性として出てくるのかなってさっき聞いて思ったのね。その細かいところは別にしても、議会報告会ではそういう方向に向けて議論しているぐらいのポイントぐらいは・・・、櫻井さんから言われたのは分かった、議会報告会と提言の両方にとって、だからそのつなく形でふれて、報告会はね、そしてそれをさらに煮詰めた形で最終提言にしていくと。そして原子力のときもだけど、議会報告会が出た意見も参考にしながら提言にまとめていきますよという。これ、基本でいいんだよね。議会報告会についてはね。そんな流れで今3人から出していただいたけど、そうするとさっき藤田さんからは、北海道のは触れなくてもいいっ</p>

	<p>ていう意見もあったけど、そこのところね、一応ことしの足利、笠原産業をベースに報告して、そして昨年の北海道でもここに入れたように意見としてまとめている。この程度は触れて、そしてそれと美里町の現状は今こういう取り組みをされているんだけどもそれに対して我々常任委員会ではこういうことが必要ではないかという議論がされていると。若干触れていた方がいいような気もするんだけどね。去年みたいに細かいことは触れなくてもね。</p>
山岸委員	<p>そうなんだよね。壮瞥町の会社も足利の笠原産業も個人の会社なんだよね。個人の会社の奥さんや社長が立ち上がって、あとから行政がついてきたみたいな。足利もそうだし北海道も役場職員は少し小さい形で動いてたからね。あれがやっぱり本来の姿なんだろうと思うからさ、私はね。民間会社のやる気がある人がいろんなことをやる。それを申請だとか手続きだとか融資だとかは行政の方で少し申請関係はねバックアップするっていう形の方がスムーズにいくのかなって…。</p>
我妻委員長	<p>やる気あるから、それぞれみんな会社ごとに努力されている。一番俺が思っていたのは足利の市の姿勢、なんだっけあそのスローガン、「素通り禁止」。</p>
山岸委員	<p>そう、そういうキャッチコピーみたいなものがあるといいね。</p>
我妻委員長	<p>なんかこういう形ででも、この町の活性化に向けているんなやっている人たちの目を1つの方に、「向けさせてるのね」の声あり)うん、そして「おらほうこういうことやっている」「俺たちこういうことやっているよ」ということが町の、町民の方向性としてね、このスローガンなんかもそういうのかな。そういう意味ではあっちは商工中心なんだけども、そういうところに学ぶところが…。もっと言えばさっきの町でやっている4項目だけど、町と直接こうなんだよね。町が募集したものにきて、そこに支援するよっていう、町が全部やって…。</p>
山岸委員	<p>それも1つの町の進め方としては別に悪いわけではないんだけどもね。</p>
我妻委員長	<p>そこからもう一步踏み出してもらって、それが鈴木さんから出たような内容につながって、組織化、ネットワーク化、そういったいろんな協力できるような組織作り。そういったところに集約できるような…。</p>
山岸委員	<p>大体大枠は見えてきたので、まずは議会報告会の研究テーマの取りまとめをして、あとは報告は取りまとめしたやつさえできれば報告書は大体…、最終報告はねこっこの報告会の研究テーマのまとめを最終報告に…。</p>
我妻委員長	<p>ことしの足利、笠原産業の報告、これを去年みたいにベースにすると。(「うん、そうだね」の声あり)議会報告会は。(「大体できてきた」の声あり)</p>

	り)そしてさらに昨年の…ここ入れなくてもいいかな…。
前原委員	まとめだけでいいんじゃないですか。
櫻井委員	まとめだけでいい、北海道の方は。
前原委員	もうちょっと要約して。
櫻井委員	北海道は去年なんかもやっているでしょ。(「やっている」の声あり) まとめのときは北海道も足さなくては駄目なんですよ。(「政策提言のときはね」の声あり)
我妻委員長	頭で触れるか。
前原委員	最初に去年の視察のまとめがあって…。
我妻委員長	最初に入れて、昨年度の壮瞥の、八雲に学びながら、さらに職員との、担当との意見交換を積み重ねてきてさらにことしは足利、それを報告して…。
櫻井委員	そいつを頭に入れるんですよ。
我妻委員長	頭にね。そして足利、この視察研修の概要をこのまま…。去年はそのまま入れたんだかな。ここに「意見」って書いていたけど「教訓」とするか、「意見」っていうのもなんだかな…。(「ああ、このね、1)2)3)ね」の声あり)そうそう。さっきちょっと言ったけど、1)2)3)でまとめていたのね。そしてきょう渡したやつに4)5)ってなっているでしょ。こいつはね、なんで入れたかっていうと上の3)に入ってたじゃないですか。ここは意見だけ抜き書きしたもんだから、上の3)の方に入れちゃったのね。下の二次加工を項目5)にただけなのね。この4)っていうやつは上の概要の一番最後に…。ここが、鈴木さんが書いたのとつながるところ。そのまんま概要を、この前報告したやつをそのままやればこの4)はこの上の概要の方に載ってしまうんで、そのままでもいいんでないか。
櫻井委員	4)5)として追加するってことでいいんですよ。
我妻委員長	いや、だからね、4)はこの前議長に報告したやつには意見の上に入っている。3)に。意見になる前に。意見の上に入っている。そいつをここにやるときに上を外したからその3)だけ下に持って行って足しちゃった。議長にやったやつをそのまま生かせばダブってしまうから上だけにして、下の二次加工、このところだけ4)にして追加したのね。分けなくていいか、ここ。(「分けていいんじゃないですか」の声あり)上は消費者までのあらゆる関係者のつながりを目指すという。下は消費者に見える農商工連携という。つながっているといえばつながっているんだけど。上も生産者から消費者までのあらゆる関係者のつながりって書いてあるから、分けることもないですか。これをベースにして、頭にさっき言ったように前年

	度の壮瞥、八雲の教訓に加えてことしはこういう…、足利に学んだと。それらを踏まえて職員、担当とも意見交換を重ねてきたと。「意見」とするか「教訓」。(「教訓とはまた違う」の声あり)「意見」って言うのもねえ、町に対する「意見」っていうのを報告書にすると、「感想」ではちょっと弱い…。(「感想じゃねえな」の声あり)感想では弱いね。
山岸議員	参考資料とか。
我妻委員長	参考資料ではない。(「参考資料は違う」の声あり)参考事例とか、先進事例とか。
櫻井委員	「まとめ」は。
鈴木委員	「所見」で駄目ですか。(「所見いいと思うな」「所見、ああ…」の声あり)同じ意味ですけど、「所見」の方がまだ「意見」よりは別な意味に。(「広いね」の声あり)「所見」の方が。
我妻委員長	じゃあ、休憩します。
	休憩 午前10時5分 再開 午前11時5分
我妻委員長	再開します。今たたき台をつくりまして、一応部分的には足利市と笠原産業株式会社視察をベースに今回の議会報告会の報告書にしたいと思いますが、その視察の後に本町が実施している産業について紹介すると。それが3点目にして、4点目…あ、この所見は2点目でもいいですか。概要が1点目。いいですね、概要がまず1つ。そしてそこから学んだことということで2点目。そしてそれらを踏まえて今本町でやっていることを入れると、3点目に。そして4点目で我々常任委員会として、どういう提言に向けて今実施しているか、そういう流れでいいですね。じゃあその4点目…。
櫻井委員	4点目、この提言に向け「て」の方がいいんじゃないですか、「た」より「て」の方が。
我妻委員長	ここ少し文言を整理します、あとね。
前原委員	一番最初にも出ているんですよ。政策提言に…。
我妻委員長	そうです。討議をさらに深めていきます。
山岸委員	取り組みの要旨って入れてなくていいですか。
我妻委員長	これは一番最初あるの。
山岸委員	表題ってあるの。要旨っていうか主旨とか。(「議会報告資料」「去年の…」の声あり)このまま。
我妻委員長	はい、それではさっき言いましたけど、提言に向けての順序は別にしてさっき言ってるのは…。
前原委員	ネットワークづくりね、鈴木委員の。これでいいでしょ。

櫻井委員	議会報告資料ってのがああるな。
我妻委員長	ネットワークづくり…。これ誰でしたか。生産者から消費者まで含めたネットワークづくり、そういう意味でしたか。
鈴木委員	これは、主に足利の市のあり方が結局いろいろな施策とかそういう財政の処置なんかは、例えば関係機関と連絡を取りながら連携をして、そのいろいろな中小の企業の人たちに施策をバックアップしていくっていうので、ネットワークっていうことをそのとき書いたと思います。
我妻委員長	関係機関のネットワークづくりの…。
鈴木委員	そうですね。もちろん、うちの大学の先生方、そして高校、学校を含めて…。
我妻委員長	それはまた別にもう1つ載せてる。産官学の体制づくりって。(「ああ、下にね」の声) 要は商工会、農協等最初入れたほうがいいかな。この関係機関の前に。商工会、JA等関係機関のネットワークづくり。
鈴木委員	うん、そうですね。私もこれはたぶんこの間の足利の、との話でたぶん出たと思うので。かなり省いて書いたんですけど。
我妻委員長	さっき話したのね。その商工会とか農協とかそういうとこの連携、ネットワークづくり。(「そうですね」の声) JA、商工会等、「等」って入れんのかな。商工会等関係機関のネットワークづくり。ネットワークをつくっているのかもわかんないけど。ないのかな。
櫻井委員	ネットワークはないんだ。(「ないんだよね」の声あり) そいつをつくんないやいけな。
我妻委員長	ネットワークについてか。つくりというよりも。(「ネットワークの構築でもいいんじゃないか」の声) ネットワークの構築、まあづくりでは…。まあそういう名前ね。JA、商工会など関係機関のネットワークの構築。2番目としてさっきのなんだっけ…。(「まちを元気にするプロジェクト」の声) まちを元気にするプロジェクト等の組織化。プロジェクトの立ち上げか。活性化も入れたほうがいいのかな。(「前に産業の活性化ってある」の声) 産業の活性化と入れとけばいいな。産業の活性化、まちを元気にする…。あとは一番最後のところか。(「産学官か」の声あり) 産学官、これ鈴木さんの「組織、個人を繋ぐ」も入れたほうがいいね。組織だけでなく個人もね。さっきのほら、いろいろなやっている人たちもやる気のある人はその中に入ってもらって、そこに教授、大学の先生なんかも入ってそういう意見交換、議論できる場、それが足利なんかでは作られる…。その中身はこれから深めるということにしてね。ここの鈴木さんのその文言、「組織、個人を繋ぐ」…。(「産学官の体制づくり」の声あり)
山岸委員	今、美里町で宮城大学とまだ提携してるよね。

櫻井委員	体制づくりまででいいんでない。提言に向けてって表題にある。
我妻委員長	これ、提言は入れないよ。最初はもう提言入っているからね。大きく3つでいいですかね。(「だね」「はい」の声あり)ということは、町がやっていることに足りないことを提言するっていうことだから。要はポイントはつながりね。
山岸委員	美里に農業高校2つあるんだよな。南郷高等学校と小牛田農林高等学校と2つあるんだよな。もう少しなんか町に…。そういう方向…。
鈴木委員	高校生の発想力をもっているんな商品開発をしている。仙南の地域ではそういう高校ありますし。
我妻委員長	その辺の中身についてはこれから具体的に、今言った高校はどれをいれたらとか、それはこれから最終提言の中には触れていく。じゃあ、まず暫時休憩します。
	休憩 午前11時15分 再開 午前11時28分
我妻委員長	再開します。今、足利、笠原の視察研修の後の部分、3が本町の実施している事業ということで、現在本町では産業活性化に向けて以下の事業を実施しています。ということで4つ、念のためこの4つは産業振興課とも最終確認しますね。もっとあるよとなれば足すことも…。だってあの支援事業として報告があったのはこれと最後の農業生産者の支援と法人化支援なんだよね。
前原委員	委員長のまとめてくれた参考資料の中に、29年度予算に付した意見の中で、11品目から5品目に見直してありますよね。(「はい」の声あり)これの整合性っていうのは…。これに絞って重点的に。
我妻委員長	ああ、29年度だね。産地形成促進…。産地形成促進事業もいれますか。29年度に入ったから入れたほうがいいのかな。(「入れないと…」「現在進行形だからね」の声あり)この4つにダブってないんだよね。産地形成は商品開発でもない。(「契約栽培」の声あり)契約栽培、農業生産者に向けてのものだから入れていたほうがいいんだな。(「ポテトとか、あとはねぎとかああいう契約栽培。ニンジン…」の声あり)そうですね。じゃあこれもいれて、5つにすると。今、鈴木さんからあったように契約栽培中心ですね。(「主に」「契約栽培って入れんのか」の声あり)いや、この農産物の…(「農産物の産地形成促進事業」「そうそう」の声あり)産地形成促進事業、農産物も入れたほうがいいのかな。(「事業名だから、こいつ」の声あり)ね。
山岸委員	ただ、これ何番目にいれんの。
前原委員	一番下でいいんでない。

山岸委員	5番目、5)にして入れんの。
我妻委員長	それとも4番目にして法人化支援を5番目にするか。(「下に持っていく。そのほうがいいな」の声あり)流れから言えば。では集落営農組織、これを5番にして、4番目に産地形成促進事業、農産物も入れたほうがいいんだよね。(「事業名だから」「農産物入れんのか」の声あり)農産物いれて。農産物の産地形成促進事業。
櫻井委員	方括弧4でしょ。(「そう方括弧」の声あり)農産物の産地形成促進事業、ところ。(「はい、そうです」の声あり)
我妻委員長	具体的に内容入れたほうがいいですか。(「契約栽培だけでいいんじゃないですか」の声あり)契約栽培って限定しているんだっけ。
鈴木委員	いや、やっぱりそっちが多いですけども、あとは産地形成で要はこれ11品目あったやつっていうのに関連していくと思うんで、町の取り組む重点作物を5つに絞りまして…。(「地域振興作物を…」の声あり)うん、5品目に絞った。その5品目っていうこともたぶん…。
前原委員	5品目の地域振興作物。
我妻委員長	そう入れたほうがいいのか、説明でね。説明の右の方に5品目の地域振興作物って入れておくか。(「うん」「でも29年度から30年度ってあるから」の声あり)現在ってしているから大丈夫。5品目の地域振興作物。
前原委員	これ聞いてください。
鈴木委員	3つは分かるけどあと2つがでてこない。
千葉委員	これ、あれですよ。報告会に使う資料として出すんですよ。(「ねぎと」「じゃがいも、まず」の声あり)
我妻委員長	報告会に出す。(「じゃがいも」「ニンジン」「ニンジン、たまねぎ」の声あり)
千葉委員	出すのね。報告会にね。(「たまねぎ…」「たまねぎ言ってたこないだ」「これ、委員長。聞かれそうだ…」の声あり)
我妻委員長	みなさん、予算書に書いていますから。私も見ておきますけど、みなさんも一応確認しててください。じゃあ、4番目に農産物の産地形成促進事業として、中身としては5品目の地域振興作物っていうのが重点作物として挙げられている。それで最後にさっき言った集落営農組織の法人化支援。5番目ね。 あとは提言に向けてということで、今後政策提言に向けて以下の項目について討議を深めています。今後「の」か。深めて「いきます」か。(「政策提言に向けてになっているから」の声あり)政策提言としてか。
山岸委員	表題が4、提言に向けてってなっているから…。
前原委員	うん。これいらんんじゃないですか。今後以下の項目について検討を

	深めていきます。
藤田委員	提言って書かれているからな。
櫻井委員	うん。ここ取ったほうがいいな。「政策」から「て」まで取った方がいいな。
我妻委員長	今後以下の項目について討議を深めていきます。(「いますでいいんじゃないか」の声あり) そうすると今後いらねえ。いますだったら今後はいらねえ。以下の項目について討議を深めています。(「項目いらねえ」「いや、項目は…」の声あり) 以下の項目だから。で、その項目についての説明はこの表現でいいかどうか。JA商工会等関係機関とのネットワークの構築、2番目として産業の活性化、まちを元気にするプロジェクト、づくりまでいれなくていいですね。3つ目として組織、個人を繋ぐ産学官連携の体制。我々が目指して議論をずっとやってきた方向性はこの3つに大体集約されているのかなと。
千葉委員	うん、言っていることは大体…。ただ、難しいなと、結局はこういうことですよね。
我妻委員長	実際あとはこの提言に向けて今この3項目について討議を深めていますということで、議会報告会については報告資料にすると。そういうことでいいですか。(「はい」の声あり)
山岸委員	1つだけちょっと確認させて。2枚目のさ、「所見」の1)の2行目なんだけど、農業関係者のかかわりはないが、教育機関をはじめあらゆる関係機関が連携をとれる体制づくりをされている、農業関係者のかかわりはないがって否定して、その次の行であらゆる関係機関が連携をとれる体制づくりをされているって、あらゆるってあると農業関係者のかかわりはないって文章的につながりが…。(「あらゆるって入らない方がいいか」の声あり) あらゆるって入らない方がいいような気がしたんだけど、どうなんでしょう。
我妻委員長	あらゆるって強調しすぎるとあれか。
山岸委員	農業関係者のかかわりはないがってここ、入ってないからさ…。
鈴木委員	これ、少ないがではダメですか。
山岸委員	かかわりがないわけではないからね。
千葉委員	全否定じゃなくなるほうがいい。
我妻委員長	なるほどね。なんぼか関係がある機関もあったんだよね。(「ないっていうわけではない…」「全部が…」「いいんじゃないですか」の声あり) 少ないだったらいいんですよ。ありがとうございました。(「どこや」「2枚目の2」「2の方括弧1」の声あり) 所見の1) 農業関係者のかかわりはないって全否定じゃなくて、少ないが、に。(「ああ、一番上か」の声あり)

	たしかになんぼかかわりのある機関もあったね。すみませんでした。議長に出したやつはこのまま出してしまったんで。かわりは弱いがか少ないが、少ないがのほうがいいね。いいですか、ここだけ。あともしほかにもあれば、いいですか(「はい」の声あり)それではあともう1回皆さんに落ち着いて読んでいただいて、どうしてもこの辺ねっていうのがあれば、3日の日に合同会議なんでそれまでに御一報いただければ。(「はい」の声あり)幸いかどうか分かんないですけど合同会議はこの3人が入ってるもんですから、当日の微調整も合同会議の場でも可能かと思えますんで、それまでに…。あとは報告の訂正については事務局と私のところで、去年のに合わせながら、今の「少ない」を入れてやりたいと思います。(「お願いします」の声あり)完成後のいいですか。(「メールでいいし」の声あり)あとでじゃあメールある人はメールで。千葉さんはメールあるの。
千葉委員	あるにはあるけど俺は電話だから。使ってないから。
我妻委員長	そういうことで、下のさっき言った4の提言に向けての議論は追ってまた日程を確認してやってもらいますんで、よろしくお願いします。副委員長お願いします。
山岸副委員長	大変御苦労さまでした。いろいろと議会報告会に向けてのですね、我が常任委員会での資料作り、大変御苦労さまでした。特に委員長にはいろいろ頭を悩めていただきましたけれど、やっぱりみんなが集まるといい意見がばんばん挙がるようになるんだなと。議会報告しっかりと説明できるように進めていきたいと思っています。本日は大変御苦労さまでした。
	閉会 11:40

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成29年9月28日

総務、産業、建設常任委員会

委員長